

FFG調査月報

MONTHLY REPORT

4

2020.APR
VOL.127

Top Interview

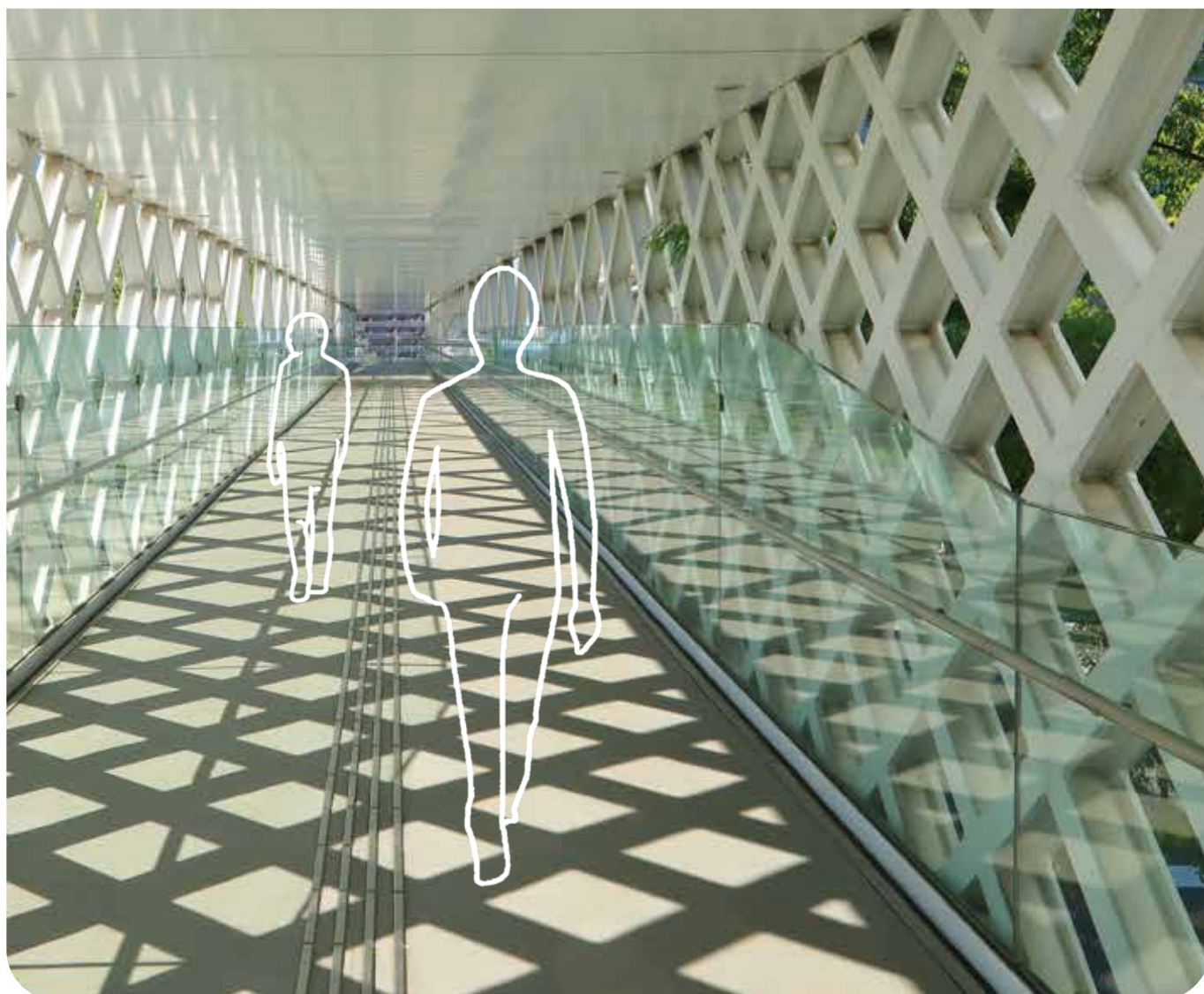
相光石油 株式会社 代表取締役社長 寺田 光一郎 氏
株式会社 サイバーレコード 代表取締役社長 増田 一哉 氏
株式会社 西日本工業 代表取締役 中野 達也 氏
玄海酒造 株式会社 取締役会長 山内 賢明 氏

福岡銀行

熊本銀行

親和銀行

18bank 十八銀行



懐かしい
情景を
探して

Looking for a nostalgic scene

風薫る、桜並木



▲流川の桜並木

四季の移ろいはわかりにくいですが、春の訪れは桜の開花が教えてくれる。お城や神社の桜の風情も捨てがたいが、田園の桜並木にはとびつきの開放感がある。

浮羽町の巨瀬川沿いに、約2kmにわたって「流川桜並木」と呼ばれる花見の名所がある。屏風のような山容の耳納連山と、そのすそ野に広がる果樹園をお供に、満開になった桜の並木道を歩く。川の兩岸を覆う若草や菜の花の香りが、すがすがしい気分にしてくれる。桜の花びらから漏れる陽光の影が揺らめいて、まるで印象派の絵画の中に紛れ込んだような風景が現れる。薄暮には灯りがともり、昼間と違った趣の花見も楽しめる。

やがて桜が散る頃、様々な果樹の花も咲き始め、フルーツの里はすっぱりと新緑に包まれていく。

(文・阿井川 圭)



●流川桜並木

場所：福岡県うきは市浮羽町
流川

CONTENTS



懐かしい情景を探して 風薫る、桜並木

26 **地域と共生する FFG**
長崎県 大村市

Top Interview

- 2 **福岡銀行**
相光石油 株式会社 代表取締役社長
寺田 光一郎 氏
- 8 **熊本銀行**
株式会社 サイバーレコード 代表取締役社長
増田 一哉 氏
- 14 **親和銀行**
株式会社 西日本工業 代表取締役
中野 達也 氏
- 20 **18bank 十八銀行**
玄海酒造 株式会社 取締役会長
山内 賢明 氏

30 **健康と観光 九州まち歩き NEW!**
福岡県 みやま市

32 **地域とつながるFFG連携プロジェクト**
福岡県

44 **九州の逸品**
株式会社 ディアー・カンパニー
鹿革・朱華

48 **九州の星**
IFBB世界マスタース選手権大会
メンズフィジーク40~44歳の部 優勝
森山 健三

バックナンバー
のお知らせ

「FFG調査月報」のバックナンバーは、ふくおかフィナンシャルグループのホームページにてご覧いただけます。



写真提供：大分県立美術館

今月の表紙

大分県立美術館 ペDESTリアンデッキ(大分県大分市)

表紙の写真は、2015年に国内では8年ぶりに新設された大分県立美術館と文化施設「iichiko総合文化センター」を結び、全長約67m、幅3.45mのペDESTリアンデッキ(渡り通路)です。美術館は、世界的にも注目されている建築家・坂 茂 氏が手掛けたもので、「出会いと五感のミュージアム」をコンセプトに、大分の伝統的な竹工芸をイメージさせるデザインを採用しています。館内にはフリースペース、カフェやショップもあり、日常的に気軽に立ち寄れる美術館です。



 福岡銀行

「人の和・熱意・行動力」で
新たなステージへチャレンジ。

あいこうせき
相光石油株式会社

代表取締役社長
てらだ こういちろう
寺田光一郎氏

取引店／福岡銀行 渡辺通支店

■会社概要

創業:1948年／設立:1950年／所在地:福岡市中央区／資本金:5,000万円／従業員:244名(2019年7月期)／事業内容:石油製品の販売・輸送・貯蔵、自動車の点検・整備・修理、自動車用品の販売、不動産賃貸業、損害保険代理店業／関連会社:株式会社ツバメガスフロンティア、光洋石油株式会社、株式会社相光ジェネシス、株式会社南九州相光エネルギー、株式会社相光エネルギーサービス、株式会社相光エネルギーセントレア

会社ホームページは
こちらからどうぞ！





本社前(左から寺田社長、柴戸頭取)

70年の歴史が信頼を支える

当社は1950年の会社設立以降、これまで自動車・産業・発電・家庭用のエネルギー供給ひと筋に歩み、オイルショックやバブル崩壊、平成不況といった危機を「人の力」によって乗り切り、今年8月に設立70周年を迎えます。今また石油需要の低迷という厳しい時代を迎える中で、社名に込めた「商いを通じて人々が相互に光り輝こう」という思いで全社員一丸となつて新たなステージへとチャレンジしてまいります。

創業者である祖父・寺田光次は、旧制朝倉中学で学んだ後、大手石油（販売）会社に入社して海外の支店長を歴任するなど頭角を現していました。終戦を迎え福岡に戻りました。独立心が旺盛だった祖父は石油業への進出を目標に福岡市内に100坪ほどの倉庫を借りて、1948年に石油製品の輸送に使うドラム缶を販売する「寺田ドラム商会」を創業し、朝鮮戦争の特需もあつて業況は拡大。2年後の1950年には共同出資を得て「森綿石油」を設立しました。

まだ石炭がエネルギーの中心だった時代で、

厳しい経営が続きましたが、「必ず石油の時代が来る」の信念でマシンの油販売を中心に九州各県、山口県まで販路を広げました。1952年に丸善石油（現・コスモ石油）の特約店になり、業務の拡充と供給体制の基盤をつくり、福岡そして鹿児島に油槽所を建設。またモーターゼーションの到来を予測して福岡市に初の直営店となる赤坂門給油所を開設し、私の父・光一も入社して経営の一端を担い、SS（※1）網を広げました。

1955年には丸善石油のLPガス事業進出に呼応し西部ツバメプロパン株式会社を設立、九州・山口の各地に出張所を開設しました。今では株式会社ツバメガスフロンティアとして九州全域と山口県で20万世帯にLPガスを供給し、お取引販売店は約300店にのぼります。また長崎エリアでは1956年に光洋石油株式会社を設立し、現在直営SS4ヶ所、販売店8店を運営しています。

森綿石油の設立から10年後の1960年に相光石油に社名を変更し、その翌年から九州電力様との取引が始まりました。祖父はお取引会社で組織する「九電商友会」の初代会長も務めました。



6



3 1



4



2



5



7

(※1) サービスステーション。ガソリンを中心にさまざまな商品・サービスを提供する給油所

他社で培った現場主義

いずれは会社を受け継ぐという思いもあり、慶応義塾大学を卒業した私は大手石油元売り会社に入社しました。石油販売のノウハウを吸収するために入社したのですが、まさかの配属先は石油化学部門でした。プラスチック原料販売の仕事に従事し、徹底した現場主義の教えのもと、私に与えられた重要任務は、電話帳をコピーしたりリスト先への飛び込みの営業でした。ここでの3年半の経験が今でも私の中に強く生きています。



寺田社長

1986年に相光石油に入社し、「現場」を大事にしたいという思いで、福岡市内のSSで、スタッフ、マネージャーとして5年間働きしました。この体験で、SS経営の根幹が現場にあるということ、収益を上げるのは「人」の力であることを痛感しました。

その後、本社で営業企画室長、福岡支店長、専務を務め、2006年に社長に就任してからも「人」現場を大切に思う思いは変わらず、今でも年間2回、必ず全SSを回っています。ピット、セールスルーム、トイレの隅々まで見て、スタッフの考えや要望を聞き、気になる点を見つけたら、すぐ改善させています。

不思議なもので、SSの雰囲気と業績は一致するものです。スタッフに好感が持て、施設が清潔で整理整頓され、雰囲気の良いSSは営業面でも優秀です。現在、福岡県を中心に佐賀、長崎、大分、熊本、鹿児島県に計52の直営・準直営、79の販売店(卸)、合計131のSSを展開していますが、1SSあたりのガソリン販売量は年々増加しています。

また九州電力様の火力発電所用重油をはじめ、工場、病院、大学、ホテル、運送会社、さらに農業・船舶用燃料まで幅広い分野で燃料



12 10



8



9



11

1.2.1967年当時と現在の福岡油槽所/3.4.5.「コンビニエンスストア併設型」「震災時対応型」など進化するSS/6.九州電力様からの感謝状とともに(左から森孝弘取締役常務執行役員、一ノ瀬謙吾取締役執行役員、手塚潤司取締役統括部長)/7.SSでの見学風景/8.1953年当時の赤坂門給油所と現在のAIビル/10.不動産リース業も増加/11.SDGs私募債発行記念の盾とバッジ/12.企業メッセージ



最前列左から寺田秋雄ツバメガスフロンティア部長、一ノ瀬謙吾上席執行役員、寺田光一郎社長、柴戸頭取、鎌倉支店長(福岡銀行)

を供給しており、海上輸送を伴う油槽所と8ヶ所の配送センターにより、石油販売のネットワークを支えています。

厳しさを増す経営環境 「自分で城を守る」覚悟で

国内のガソリン販売量は人口減少や低燃費車の普及などによって毎年2%前後減り続け、経営環境は厳しさを増しています。ピーク時には約6万店あったSSは約半分の3万店に減り、今後は2万店を切る事態になるかも知れません。元売りの経営統合も進み、JXTGエネルギー、出光昭和シェル、コスモ石油と、全国をネットする元売りは3社体制になりました。

元売りは小売り業界にも進出し、子会社による直営店を増やしていく中、異業種による大型ショッピングモールへのSSの進出など競争は今なお激化する一方です。

その中で生き残るためにどうしたら良いか――。10年前から常にそのことを考えてきました。その基本は「自分の城は自分で守る」という覚悟です。そのためには、お客様に選んで

頂ける「良いお店」を作らなくてはなりません。立地条件の良い土地を所有していることは当社の強みですがそれだけでは良いお店とは言えません。美化を徹底する、明るい笑顔でのご挨拶、テキパキと動くスタッフ等課題も成果も解決策も現場にしかありませんので、現場ファーストで仕事を進めています。またここ10年間は、大型のセルフSSを毎年1、2ヶ所開店し、社内の活性化と客数拡大に努めてきました。

70周年を記念して

SDGs 私募債を発行

多様なサービスが求められているためにコンビニ併設のSSも増やしてきましたが、さらに今後は、電気自動車用の充電設備の併設や飲食、カフェ、クリーニング店の併設など様々な可能性にチャレンジしていきます。また地域への貢献として万一の災害の際にも安定して石油製品を供給する「災害対応型SS」の設置も積極的に進めています。

さらに今年1月には、会社設立70周年を記念して、SDGs 私募債(※2)を発行します。

した。福岡銀行様を通じて発行額の0.1%を貧困や飢餓、エネルギー、気候変動などの課題の解決のための公益事業に役立てていただきます。

(※2)国連が採択した「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)」に貢献するため財務基準を満たした企業が発行する社債

「人の力」で未来をひらく

エネルギーの進化は人類の歴史そのものです。昭和から平成、そして令和へとエネルギー業界を取り巻く環境は大きく変化し、石油・ガス・電力といった垣根もますます低くなるでしょう。

当社は、自動車・産業・家庭などの様々な分野で、供給インフラと販売ネットワークを有しています。これは大きなセールスポイントであり、強力な武器となっています。そしてそれを生かすのは「人」なのです。

創業から70年間という歴史の中で蓄えた「人の和・熱意・行動力」を最大限に生かし、あらゆる変化に柔軟に対応しながら、新たなステージへチャレンジし、人のエネルギーを未来へつないでいきたいと考えています。

■ インタビューを終えて

福岡銀行 取締役頭取 柴戸 隆成



戦後まもなく、石炭から石油へのエネルギー革命やモータリゼーションの到来という時代の大きな変化を予測して、いち早く石油類やLPガスの販売事業を創業され、オイルショックやバブル崩壊といった危機を「人の力」で乗り越え、九州・山口一円でエネルギーの安定供給を支えてこられました。

今またガソリンの需要減少という厳しい経営環境を迎えていますが、創業時から培った「人の力」を活かした「現場主義」で時代の荒波を乗り越え、新たなステージを切り開いていかれることを期待しております。



 熊本銀行

ECサイトの運営代行に特化し、
熊本から世界を目指す。

株式会社サイバーレコード

代表取締役社長
ますだ かずや
増田一哉氏

取引店／熊本銀行 田崎支店

■会社概要

設立:2008年／所在地:熊本市南区／資本金:
1,000万円／従業員:75名／事業内容:ECサイト
運営代行、ネット通販受注代行、ネット通販コンサ
ルティング、ふるさと納税運営代行／事業拠点:
(本社)熊本市南区

会社ホームページは
こちらからどうぞ！





本社前(左から増田社長、野村頭取)

試行錯誤の事業展開を経て EC運営代行に特化

当社は、インターネット上で商品やサービスを売買するEC（Eコマース／電子商取引）の運営代行を事業の柱とする企業です。とはいっても、社名からよくレコード店と間違われます。これは、会社を設立した当時、WEB上で音楽の楽曲データ販売サイト「サイバーレコード」を立ち上げて運営し、社名にしたことに由来しています。

熊本出身の私が食品会社でネット通販事業を手掛けた後に独立・起業したのが2008年。当初は、自分の好きな音楽ジャンルのサービスを企画したり、スマートフォンのアプリケーション開発を目指したりしたもの、なかなか利益を生む事業にまで育てることができない日々が続きました。

そのような状況下、事業の方向性の転換を図るうえで着目したのが、ECの運営代行です。ECは、自社サイトによるものと、楽天や

アマゾンなどのオンラインモールに出店して行うものと大きく分けて2種類ありますが、出店手数料という負担がなくモールの規則にも縛られない自社サイトECの運営代行は、すでに東京の大手広告代理店が市場を支配していました。そこで、競争相手のいなかったモールでのEC運営代行をスタートさせたのですが、今やオンラインモールは、その市場の拡大によって「ひとつのメディア」としての価値を得るまでに成長しています。モール市場の拡大は当社にとって、ありがたい追い風となりました。また、時間とコストが掛かるアプリ開発にくらべて要点を押さえれば利益を生みやすいEC運営代行事業に社運を賭け、創業2年目の段階でEC一本に事業を絞った決断も、当社のその後の成長を促す契機となりました。

徹底したワンストップサービスで 有名大手を次々に顧客として獲得

ネット通販業務の経験から得たEC運営



2 1



3





増田社長

代行のノウハウを活かすなかで、当社の大きな強みとなったのが、クライアントに対する専任担当者制です。広告、カスタマー対応、コンサルティングなど、すべてがワンストップで行えるため、スピーディーに、よりきめこまやかなサービスを提供できます。そうした当社の姿勢が少しずつ評価され、2010年に楽天の運営代行を本格的に手掛けるようになってまもなく、楽天サイドからもすでに楽天に出店済みの企業を紹介していただけるようになりました。それに伴って、当初はクライアントが熊本エリアに限られていましたが、福岡の有名大手企業とお付き合いができるようになり、「あの

企業と取引があるのなら」と、当社のことを知らなかった大手企業からも声が掛かるように。当社の楽天運営代行事業は順調に拡大してきました。

さらに、モールとしてどうしても押さえておきたかったアマゾンには、私自身が東京のオフィスへ乗り込んで直談判。外資系でもともとパートナー制度を敷いていなかったアマゾンは、すぐには首を縦に振ってくれませんでした。ですが、九州の有名企業をもっと出店させたいアマゾンと、すでに当社と取引のあった有名大手企業を引き合わせたことで、当社はアマゾンの信頼を得ることとなり、アマゾンの運営代行事業を2014年にスタートさせました。翌2015年にはアマゾン運営代行のクライアントが100社を突破し、さらにその1年後には200社を超えるまでに急増しました。現在もクライアントのワンストップ対応に加え、楽天向け、アマゾン向けの専任チームを設ける施策で対応力を強化しているところです。



8 6



4

1.本社見学風景／2.社内イベントでの調理風景／3.販売商品の写真撮影／4.宇城市のクラフトビールをデザイン／5.和やかな雰囲気でのディスカッション／6.対談風景／7.実績紹介:納税サイト「ふるさとチョイス」宇城市のページ／8.企業メッセージ



5



最前列左から野村頭取、増田社長、高野支店長（熊本銀行）

地方創生事業のふるさと納税で 市場拡大につながる企業版を開始

2017年にふるさと納税の運営代行事業を開始したのは、楽天がふるさと納税事業を手掛けていたことがきっかけでした。当社のもつEC運営代行のノウハウをふるさと納税の業務代行に水平展開できると判断し、アマゾンとの交渉経験から「交渉とは価値の交換」と捉えていた私は、今度は日本最大級のふるさと納税サイトである「ふるさとチョイス」に交渉を求めたのです。その結果、当社は九州エリア唯一のパートナーに認定されました。「楽天ふるさと納税」でも楽天RMSパートナーとして認定をうけており、両者の共通のパートナーであるのは当社だけです。さらには、ふるさと納税における自治体との契約数でも九州ナンバーワンを獲得。地方創生事業であるふるさと納税は、個人農家から地元企業まで救済できる手立てとして地域活性化に有効であり、当社はそのような事業に貢献

できる活動に意義を感じています。

そして、ふるさと納税運営事業が順調に伸びるなか、企業版ふるさと納税のサポート事業も展開しています。個人版のふるさと納税が現在、約5千億円の市場規模なのに対して、わが国の法人が年間に寄付する金額は1兆1千万円に達するといわれています。そして、地方自治体に寄付した企業の税負担が軽減される企業版ふるさと納税は、2020年4月から税制改正等を踏まえた地方創生応援制度での軽減幅が約6割から約9割に広がり、企業側のメリットはますます増加するでしょう。当社では、企業版ふるさと納税プラットフォームの九州支社を担い、地方と企業をつなぐ活動をより加速させていきたいと考えています。

海外展開を進めつつ

熊本にこだわって地元貢献する

2018年に高島屋、2019年に電通グループと業務提携したことによって、全国的な

知名度を有するブランドを展開するナショナルクライアントへのEC提案と運用を進めるのと並行して、国内人口減少に伴う市場の縮小を見据えた越境ECの準備と投資にも取り組んでいます。具体的には、まず上海。地理的な面で、東京にくらべて当地は地の利で勝っており、スピーディーな展開を図れる利点を最大限に活かしたいところです。

当社のミッションは「地域の価値をEコマースで創ること」。海外展開と同時に、地元の価値の創出には力を入れていくつもりです。これまでIT業界は、長きにわたってブラックな就労環境のイメージを持たれてきました。それだけに、ここにだれもが笑顔で働ける会社をつくって、求心力を高めることには大きな意味があると考えます。事業によって生み出された利益を、社員の待遇改善、職場環境の整備、福利厚生充実の充実に惜しまず費やし、働き方改革や人材育成で好事例となる取り組みを模索しながら、熊本にあつて「九州一」と言われるようなEC企業を目指してまいります。

■ インタビューを終えて

熊本銀行 取締役頭取 野村 俊巳

昨今、世界的に急成長著しいEC関連ビジネスにおいて、オンラインモールの運営代行にいち早く特化され、楽天、アマゾン、ヤフー等の公式パートナーとして、現在は九州一の運用実績を重ねておられます。

ふるさと納税事業においても、全国最大の運営組織のパートナーとしてご活躍されるとともに、自治体との契約数も九州一と、地域経済の活性化に大きく貢献しておられます。

今後も、中国や東アジアを視野に海外展開も準備され、熊本から世界へとますます発展の場を広げられることを期待しています。





 親和銀行

好きです、難しいこと。

目指しています、

鉄工所のようにでない鉄工所。

株式会社西日本工業

にしにほんこうぎょう

代表取締役
中野達也氏

なかの たつや

取引店／親和銀行 早岐支店
十八銀行 早岐支店

■会社概要

設立:1953年／所在地:長崎県佐世保市／資本金:2,000万円／従業員:54名(関連会社含む)
／事業内容:船舶機装品製造・陸上プラント工事・環境保全設備製造・海外調達／事業拠点:(本社・工場)長崎県佐世保市／関連会社:株式会社中野エンジニアリング

会社ホームページは
こちらからどうぞ!





本社前(左から中野陽子常務、中野達也社長、吉澤頭取)

「佐世保で一番の会社になれ」 創業者の叱咤激励で奮起

当社はお客様の満足と社員の満足を念頭に置いた企業努力により、船舶機装品をはじめとする製品の設計・製作・据付を行い、株式会社名村造船所や佐世保重工業株式会社（以下、SSK）などの、大手造船所や大手企業、県や市等のお客様のお役に立つ仕事をモットーに日々取り組んでおります。

1953年、旧海軍工廠で働いていた父・善八郎ぜんぱちろうが34歳の時に佐世保で興した鉄工所が当社の始まりです。三人兄弟の末っ子だった私は、兄たちがそれぞれの道へ進むなか父に見込まれ、十代で横浜の鉄工所に入って2年の修業時代を過ごし、佐世保へ戻りました。そこからは父との二人三脚で小さな鉄工所を次第に拡大していきました。私にとって最初の転機となったのは、1975年の広田工業団地への本社移転です。24歳だった私は現場作業だけでなく、会社の印鑑を預けられて事業資金を管理しながら経営にも関わるようになりました。父が当社の将来を見据えて、「佐世保

で一番の会社になれ」と、繰り返し私に説いて聞かせていたのを思い出します。

当時、佐世保にはSSKをはじめとする大企業がすでにあるなか、どのようにしたら一番になれるのかを考えあぐねた末に私が出した結論は、「佐世保で一番の会社の〴〵一番の協力会社になること」でした。当時は、SSKが急成長を続けていた時期と重なっていたことから多くの仕事をいただき、また周囲の同業他社が造船専門、修理専門といった事業を特化させていたのに対し、当社は依頼されればどんな仕事でも引き受けていました。協力会社としての実績を作らなければという意気込みもありましたが、当時は私自身が上手な断り方を知らなかったのかもしれない。その姿勢が結果的に功を奏し、SSKからパートナーとして認められ、徐々に重要な仕事を任せていただけるようになりました。

困難な仕事ほど技術を鍛え 会社を成長させてくれる

それから10年が経過し、父から社長を引き





中野達也社長

継ぎました。34歳の時のことで、父が会社を興したのと同じ年齢でした。揺るぎない経営を続けていくために、企業理念を掲げるところからはじめました。当社の理念は「好きです、難しいこと。目指してます、鉄工所のようないい鉄工所」です。鉄工所の仕事は、概していえば、あまりよいイメージを持たれません。しかし、世の中に必要な仕事で、なくなることはありません。そう考えた私は、どうせなら鉄工所のイメージを変えられるような会社にしていくと、決意を新たにしました。

そして、そのために必要なのが、難しい仕事に真摯に取り組むこと。一般的には、簡単な

仕事を請ける方が経営効率がいいと思われるかもしれませんが、あえて難しい仕事に取り組むことは、技術力を高める成果に繋がります。そうした経験値を蓄えることで企業としての独自性を確立するのにも役立ちます。実際に、SSKの協力会社として、造船技術の主軸とされ緻密で高水準の技術を要求される、船舶のマスト・ポスト等の製造を任される様になりました。

当社が存在感をより示せるようになった要因には、人材教育への注力と業務効率化への、いち早い決断もあります。人材教育について、高度な専門技術を身に付けた人材を生み出すのに重要なのは教育だと考え、社員の勉強会では、作業手順書を一緒に作成する等、早い段階から注力してきました。勉強会で大事なことは、社長も同じ立場で参加することです。さらに、社員各自に自発的に考える機会を与えるのにもこだわってきました。旅行資金を支給して、休日に旅行をしてレポートを提出してもらう、当社独自の「一人旅制度」もその一環です。旅の経路も目的地も本人の自由ですが、すべて自分自身で考えて計画し行動する



1.工場の様子／2.塗装ブースを見学／3.レーザーカッターで切断されたアルミ板／4.作業風景／5.船舶のマスト出荷風景／6.見学の様子／7.設計室を見学／8.企業メッセージ





最前列左から森崎和博常務、中野寿子専務、中野陽子常務、中野達也社長、吉澤頭取、青柳支店長（親和銀行）

という経験が、各自の意識を変革するきっかけとなるのです。

業務効率化については、数々の設備機器の導入をどこよりも早い段階で行ってきました。例えば、当時は造園用にしか使われていなかったユニック車や、鋼材を自動で切断加工するNCプラズマ切断装置など。高価な買い物で父にはいずれも反対されましたが、それらの導入効果は父も満足してくれるほどでした。

自利利他の心で

CSとESの実現を目指す

企業の事業発展と継続のために必要なのは、「自利利他」の精神であると私は考えています。相手のためになろうと思う気持ちが、結果的には自分自身のためになるのです。経営は顧客満足（CS）と社員満足（ES）を念頭に置いて企業努力を続ける姿勢が肝心です。お客様に対しては、目先の自社利益を優先せず、相手の利となる活動を目指します。その一例でもある、SSKとその協力企業で連携して取り組んでいる外国人労働者の受け入れ

と育成は、お客様のためばかりでなく、長い目で見れば外国人との共生、国際貢献と地域振興に役立っているものと考えます。

当社の社員に対しては、あたたかい昼食、誕生祝い金や、餅つきなどの恒例イベントで日頃の頑張りを労うのに加え、新年会と安全祈願も兼ねた創業者の墓参り小旅行で、先人を敬い感謝する心を育んでもらう取り組みも行っています。勉強会もそうですが、経営者の重要な仕事のひとつは、人が成長できる場をつくること。社員一人ひとりのモチベーションをアップさせ、実績と経験によって培われた企業文化を次の世代に伝えていくのが、経営に携わる者が果たすべき使命であると思います。

自主性を重んじる後継者育成で シームレスな事業承継へ

1952年生まれの私は、2年後には70歳となります。後継者として東京から帰郷し、現在は常務を務めている長女・陽子に経営を承継する時期が近づいたと考えています。経営者として教えるべきことはまだ残っていますが、

この先、何事にも私に尋ねずに判断できるよう、今はあまり口出しをせず、本人の考えをなるべくサポートするよう心掛けています。

近年、ITツールを活用した社内の情報共有化システムの導入を主導し、成果をあげた常務の功績に、経営人材としての成長を感じています。父や私のようなリーダーシップ型の経営から脱して、自律的に考え、行動出来る組織をつくり、さらに一人ひとりの能力を伸ばし、活かすフォロワーシップ型の経営を目指そうとしており、それもまた、これからの時代に合致しているのかもしれませんが、本人のこれまでの経験を活かして、当社の系列会社で手掛けている外販部門を成長させていく構想も練っています。

そういったチャレンジ精神は、これからの会社経営に欠かせないものですし、その一方で、経営を引き継ぐ者の重圧も理解できます。私自身も、これまでの経験を通じてそれを実感していますから。当社の事業と経営理念を引き継いだ先に、これまで育ってきた樹にさらに豊かな枝葉が繁るような未来が開けることを願っています。

■ インタビューを終えて

親和銀行 取締役頭取 吉澤 俊介

中野社長が掲げられた企業理念にあるように、これまで鉄工所という枠にとらわれず、技術力を磨き上げ、さまざまな分野に挑戦する企業風土を育ててこられました。ものづくり企業として、社員一人ひとりの技術力ばかりでなく、人間力の醸成にも取り組み、さらには、熟練者の技術伝承や外国人労働者の教育などにも注力されておられます。

これから迎えられるスムーズな事業承継とともに、さまざまな事業に挑戦を続けられ、地元佐世保ひいては長崎全体の発展に寄与されることを期待しています。





18ank 十八銀行

むぎ焼酎発祥の地・壱岐。

創業から120年続く伝統製法。

げんかいしゅぞう
玄海酒造株式会社

取締役会長

やまうち けんめい
山内賢明氏

取引店／十八銀行 壱岐支店

■会社概要

創業:1900年／設立:1985年／所在地:長崎県
壱岐市／資本金:1,000万円／従業員:50名／
事業内容:壱岐焼酎の製造および販売

会社ホームページは
こちらからどうぞ!





本社前(左から山内会長、森頭取)

伝統の製法を守り 世界のブランドへ

当社は焼酎発祥の地・杵岐で蔵元として焼酎を生産し続け、今年創業120年を迎えました。

杵岐の焼酎は16世紀頃から島民の間で独特の製法でつくられ、脈々と受け継がれてきたもので、現在、当社を含めた7つの蔵元がそれぞれ伝統の製法を守り、独自のこだわりや個性を加えて新しい焼酎づくりに取り組んでいます。

1995年、『杵岐焼酎』は地理的表示(※1)の産地指定を受け、ウイスキーの『スコッチ』や、ワインの『ボルドー』などと並んで、世界が認めるブランドになりました。

わが国の焼酎の歴史は、杵岐を抜きにして語ることはできません。3世紀末(日本では弥生時代)の中国の『魏志倭人伝』に「南海を渡ること千余里。一大国(一支国、現在の杵岐)」という記述があり、古代から日本とアジアを結ぶ交通の要衝として重要な役割を果たしてきたことが伺えます。

杵岐は東西に15km、南北に17kmほどの島ですが、なだらかな丘陵の地形が雨水を蓄え、

長崎県では2番目に広い穀倉地を有しています。杵岐にはもともと酒づくりに欠かせない良質の水と穀物が豊富にありましたが、米は年貢として納めなければならなかったため、島民は麦を原料に「どぶろく」(※2)をつくって飲んでいました。先人はそこから工夫を重ねて、中国から伝わった蒸留の技術を使って透明で日持ちがする酒をつくり、さらに米を麴こうじに使うことを考え、試行錯誤の末に大麦3分の2、米麴3分の1という杵岐だけの黄金の比率にたどり着き、今も現存する7つの蔵元はこの製法を大切に守っています。

(※1)品質や評価が原産地に由来すると認めた製品を知的財産権として保護する世界貿易機関(WTO)の制度。その地域で生産され、決められた製法でつくられた製品だけが認められ、日本では『球磨焼酎』『琉球泡盛』などが指定された。

(※2)発酵した酒をこしていない酒

建設会社から転身 知名度アップに腐心

当社を創業したのは私の祖父・為三郎ためさぶろうです。鍛冶屋の次男として生まれましたが、家業として焼酎づくりをしていた同じ姓の山内家の一人娘の志女しめと結婚してから本格的に



5



3



1



6



4



2



山内会長

焼酎づくりを始め、30歳になった1900年に焼酎の製造免許を取得し、蔵元として創業しました。銘柄の名前は「瀧泉」^{たきいずみ}。今もつくり続けている銘柄です。

当時、つくっていた焼酎は島内でのみ消費されていました。舌の肥えた島民に愛される焼酎づくりをしなければならず、多いときには55軒ほどあった蔵元もおのずと淘汰されていったようです。

為三郎は1923年にこの世を去り、地元の小学校で教鞭^とを執っていた私の父・長三郎^{ちやうざんざう}が20歳の時に2代目当主になりました。満州事変から太平洋戦争にかけての戦争の時代で原料不足に悩まされ、黄麹^{きうこう}の代わりに黒麹を

使うなど大変苦労したようです。

そんな父も1953年に急逝し、私の兄・清和^{きよわ}が3代目を継ぎました。もともと研究熱心な性格で、機材や技術の改良に取り組んで経営を近代化しましたが、1983年に56歳で早逝したため、妻・忠子^{ただこ}が4代目を継承しました。

その2年後、親族での会議の結果、私が5代目の跡継ぎとして指名されました。私は明治大学を卒業した後、東京の大手建設会社で営業を担当していました。仕事も順調だったために、随分と悩みましたが、「百年の歴史を持つ蔵元を途絶えさせてはいけない」との思いが次第に溢れ、杵岐に戻ることを決めました。

杵岐に戻ってからは折からの焼酎ブームもあり、東京で培った人脈を活かして杵岐から東京へ向かう東海道沿線に営業拠点をつくる計画に着手しました。杵岐焼酎の知名度が予想以上に低かったことには落胆しましたが、品質には自信があったので、試飲によって販売先を増やすという手法で営業を続けました。また杵岐の歴史や風土を紹介するパンフレットをつくり、杵岐そのものもPRしてまわりました。



1.看板商品／2.タンク貯蔵／3.貯蔵庫にて熟成中のかめ仕込み／4.樽仕込み。黒麹が付着している為、樽が黒くなっている／5.杵岐出身の偉人たち／6.焼酎資料館内部／7.米麹を蒸す麹室／8.発酵の様子を見学／9.もろみを均一に発酵させる為、蔵人が専用の棒で混ぜる／10.原酒を試飲(43度)／11.蔵元メッセージ





最前列左2番目から山内社長、山内会長、森頭取、永野支店長(十八銀行)

米麴と麦でさわやかな香り 味わい深い美酒に

吉岐焼酎が出来る工程をご紹介します。まず、米を洗い・蒸し・種麴を入れて米麴を造り、酒母と水を加え、7日間発酵させて一次醪もろみを造ります。次に大麦を洗い・蒸し・一次醪と水を加え、14日間発酵させて二次醪を造ります。二次醪を蒸留し、45度の焼酎を造ります。この後、タンクや樽なに入れて、短くても2年、長い場合は20年をかけて熟成させ、酒の甘さを残しながら大麦のさわやかな香りを漂わせる味わい深い美酒に仕上げます。

当社は現在、ロングセラーの『むぎ焼酎吉岐』(1.8ℓ、20〜40度の4種類)、陶器入りの『徳利吉岐』など、約20種類の銘柄でアルコール度数が異なる多くの焼酎をつくっています。

『松永安左エ門翁』はとくに思い出深い焼酎です。吉岐出身の松永翁は戦後の電気事業の発展に大きな足跡を残し「電力の鬼」と呼ばれている方で、私はかねてから郷土の誇りであるこの翁の名を冠した焼酎をつくりたいと思っていました。とっておきの古酒を樽でじっくり熟成させた自信の逸品が出来たので、翁の

ご遺族のお許しを得て発表しました。おかげさまで高評価を得てモンドセレクション大金賞に輝きました。

当社ではこの他、『瀧泉』『彦岐オールド』が大金賞を受賞したのを始め、多くの商品が数々の賞をいただいています。

2010年、私は会長に就任し、次兄の長男・昭人^{あきと}が6代目の社長に就任しました。福岡市の測量学校を経て航空写真測量の仕事をしていましたが、説得して呼び戻しました。私も同じですが、一度島を離れて別の仕事をしたことで視野が広がります。昭人は、先人によく学び、彦岐の地を愛しながら、新しい商品開発にも積極的にチャレンジしており、大いに期待しています。

先見性と経営力で 将来も輝き続けたい

私は長崎県酒造組合会長、日本酒造組合中央会本格焼酎需要開発部会長などを務め、彦岐焼酎だけでなく長崎県内、そして全国の焼酎業界の発展に力を注いでいます。

一方で、これまで彦岐焼酎の歴史がほとんど

判明していなかったため、時間を見つけては日本各地から韓国まで足を伸ばして彦岐焼酎のルーツを調べた結果、「彦岐こそ、むぎ焼酎発祥の地」という確信を持ち、『彦岐焼酎／蔵元が語る彦岐焼酎文化私論』(※3)を上梓^{じょうし}しました。おかげさまで「彦岐の焼酎と伝統・文化を知る好著」と評価いただき、版を重ねています。

焼酎は長い年月をかけてつくる「寝かせる酒」です。蔵元は常に5年後、10年後の消費者の嗜好^{しこう}を見極めながら先見性と経営力を持続し、5年に1度はヒット商品を出すような経営戦略とアイデアが求められます。そのためにはあらゆる方面にアンテナを張り、情報をキャッチしなければなりません。

焼酎業界は今、多様化する酒類業界の中で厳しい時代を迎えています。しかし私は、ピンチはチャンスと捉えています。彦岐焼酎は「本物を飲みたい」という人々のニーズに応えることができるからです。

彦岐の7蔵元が連携して伝統を守りながらさらなる進化を続け、この島が秘める古代ロマンとともに将来も輝き続けることを願っています。

(※3)長崎新聞新書、2007年初版

■ インタビューを終えて

十八銀行 取締役頭取 森 拓二郎



創業から120年、彦岐で本格むぎ焼酎をつくり続けておられます。わが国の焼酎づくりの原点で、七つの蔵元で切磋琢磨してこられたことで、地理的表示の産地指定を受けられました。

山内賢明会長は、優れた経営手腕とともに独自の発想、アイデアによって数々のヒット商品を世に送り出されました。本業に加えて焼酎の歴史についての造詣^{ぞうけい}も深く、講演や執筆など彦岐のスポークスマンとしても尽力されています。

これからも6代目・昭人社長と力を携えて、自社のみならず彦岐や長崎県の焼酎業界の発展に寄与されることを期待しています。



長崎県

OMURA CITY

大村市

長崎県
大村市

長崎県の中央部に位置する大村市は、東に多良山系、西に大村湾を臨む豊かな自然に囲まれたまちです。

大村の歴史は古く、日本初のキリシタン大名「大村純忠」が、初の公式ヨーロッパ訪問団「天正遣欧少年使節」をローマに派遣しました。

また、大村藩は幕末勤王派に属し、近代日本の礎を築いた渡邊昇や楠本正隆をはじめ、幾多の偉人を輩出しました。

長崎県の空の玄関口である長崎空港や、市内を南北に貫く長崎自動車道といった交通の利便性から、大変住みやすいまちとなり、人口が着実に増加している都市として、発展を続けています。

昨年10月には、県立長崎図書館と大村市立図書館による一体型図書館「ミライオン図書館」と「大村市立歴史資料館」との複合施設「ミライオン」が開館しました。

さらに、令和4年度には、九州新幹線西九州ルートが開通し、新たな新幹線駅も開業します。半径2.5 km圏内に、空港、新幹線、高速道路がある高速交通の要衝として、さらなる発展が期待されています。



昨年開館したミライオン



天正遣欧少年使節顕彰之像



2,000本の桜が咲き誇る大村公園



花菖蒲

また、毎年、春には「日本さくら名所百選」の地に選ばれている大村公園で、国指定天然記念物であるオオムラザクラをはじめ、約2,000本の桜が咲き誇り多くの観光客でにぎわいます。

初夏にかけては、約30万本の花菖蒲も見頃となる花のまち・大村に、ぜひお越しください。

大村市
公式ホームページは
こちらからどうぞ！



～大村市新幹線開業アクションプラン～ 九州新幹線西九州ルートの開業に向けたまちづくり

九州新幹線西九州ルートは、武雄温泉駅～長崎駅間の約66kmがフル規格新幹線として整備されており、令和4年度に開業することとなっています。

大村市にも新幹線の駅が新設されることから、新幹線開業という大きなチャンスを活かし開業効果を最大限に広く波及させることを目的に「大村市新幹線開業アクションプラン」を昨年3月に策定しました。

現在、開業に向け、市全体での盛り上げやおもてなしなどの様々な取り組みを市民一丸となって進めています。



新幹線新駅((仮称)新大村駅)

大村市では、新幹線開業に向け、平成28年度から土地区画整理事業に着手し、新幹線新駅周辺を新たな都市拠点として整備を進めています。特に新幹線新駅前の公有地約3・2haには、民間活力の導入により賑わいの場を創出することとしており、現在、開発事業者の公募に向け、導入する機能などの検討を行っています。

このようなハード整備に加え、ソフト事業として取り組んでいるのが「大村市新幹線開業アクションプラン」です。

このプランでは、大村市人口ビジョンでの目標である「2025年に人口10万人」を実現するために、新幹線の開業という大きなチャンスを最大限に活用し、「交流人口の拡大」をはじめとする様々な新幹線開業効果をより大きなものとすることを目指しています。

「定住人口」を増やすためには大村が「行きたい」、「働きたい」、「住みたい」と思ってもらえるような魅力あるまちとなることが重要です。

また、観光客などの「交流人口」や定期的に大村を訪れる「関係人口」を増やすことで経済活性化へとつなげる取り組みも必要です。

これまでは「素通り」「だったまちで、交流や体験の「ストーリー」を創り出し、滞在するまちとし、最終的に住む場所として選んでもらえるように「素通りからストーリーのあるまち・大村」をスローガンに観光から

定住へ繋げる流れを創り出す取り組みを実施していくこととしています。

実施する取組事業は、「プロモーション」、「観光商品づくり」、「移住・定住促進」の3つのテーマに基づき、市内の若手を中心とした策定委員会が36の取組事業を考えだしました。

現在、関係する経済・観光団体などが幅広く連携し、力を合わせ、市民一丸となって取り組んでいます。

令和4年度の開業に向け、多くの方に大村市に足を運んでもらえるように「魅力ある大村」を目指していきます。



新幹線駅周辺

～安全で安心な内陸型の工業団地～

第2大村ハイテクパーク分譲中

平成31年4月、新しい工業団地「第2大村ハイテクパーク」の分譲を開始しました。

現在、分譲地4区画のうち、1区画2社の立地が決定し、既に工場の建設を始められた企業もあります。



東側から撮影した第2大村ハイテクパーク

長崎県のほぼ中央に位置し、多良山系を東に仰ぎ、西に波静かな大村湾を望む大村市は、山と海に囲まれた豊かな自然環境がありながら、長崎空港、高速道路IC、新幹線新駅（令和4年度開業）など、交通の要衝としての都市機能が揃っており、これまで県央の中核的な都市として着実に発展しています。

同工業団地は、長崎自動車道大村ICから約5km、長崎空港から約10km、九州新幹線西九州ルート（長崎ルート）新大村駅（仮称）から約6kmに位置し、絶好の交通アクセス

が魅力です。

分譲地は4区画約12・4haで、上水道、公共下水道のほか、工業用水道（団地内供給量500m³/日）も完備し、企業活動を行うには良好な立地環境を整えています。

地震が少ない地域特性と、津波や塩害に対しても高い安全性がある内陸型の工業団地であるため、地震リスクのある日本において、企業のBCP（事業継続計画）対策には最適地であるといえます。

市内には工業高校、周辺には高専、工業系の大学もあり優秀な工学系の人材が豊かで確保しやすくなっています。

隣接する大村ハイテクパークやオフィスパーク大村には、シリコンウェーハの製造をはじめとして、液晶用フィルム製造、電子機器製造などの高度技術型企業のほか、自動車部品関連企業等が立地しています。加えて、長崎県工業技術センター、長崎県建設技術研究センター、長崎県環境保健研究センターなどの県の施設が立地し、ハード・ソフト両面から技術の高度化を

支援しています。

新たな雇用の場を創出することで、若者の流出を防ぐとともに、地域産業の活性化に繋げ、「行きたい！働きたい！住み続けたい！しあわせ実感都市大村」を目指しています。



第2大村ハイテクパークの区画平面図

団地概要

所在地／大村市雄ヶ原町1723番地1～4,14

団地内道路幅員／9メートル（うち歩道2メートル）

1㎡当たりの単価／10,000円

インフラ整備／

- 給水 上水道
- 工業用水 500m³（1日当たり）
- 排水 下水道（生活雑排水）
- 電力 普通高圧6.6キロボルト（九州電力）
- ガス プロパンガス
- 通信 高速光通信（NTT西日本）



健康目線で地域をご紹介します
楽しく歩いて健康づくり

健康と観光

九州まち歩き

第1回

みやま市
(福岡)



人生100年時代。最近では認知症のリスクを低減させるという報告もあり、ウォーキングにますます注目が集まっています。ただ、健康のために良いと分かっているのに、歩くだけでは続かないかもしれません。人生を楽しんでい

たら、いつの間にか健康になって寿命も延びている。そんな明日を目指して、九州各地の知らないまちへ元気に出かけましょう！

詳細の
MAPは
こちらから



6 株式会社 八ちゃん堂

冷凍食品のパイオニア「八ちゃん堂」直営の工場直売所。たこ焼きをはじめ全国的に人気の皮むき冷凍ミカン「むかん」の他にも限定品やお買い得品がたくさん。
☎0944(64)6956 八ちゃん堂工場直売所でfacebookもやっています。



3 長田鉱泉場

日本有数の炭酸含有量で、レトロな建物が人気の鉱泉場です。



2 長田の大銀杏

老松神社境内にあり、樹齢400年・高さ27m・幹回り11mと県内最大級です。



1 コガコーラ

約半世紀ぶりに復刻したご当地ドリンク。長田鉱泉ふれあい館で購入できます。

ウォーキングのポイント 【シューズの選び方】

ランニング用とウォーキング用では靴の作りが異なります。必ず専門店に相談して、歩きやすさや安定性を考慮した疲れにくい靴を選びましょう。



10 タカ食品工業株式会社



創業70年を越える同社は、給食用のジャムやマーガリンをずっと作り続けている企業。「タカベビー」という商品名を聞けば、誰もが懐かしい給食の風景を思い出すはずです。

給食ジャム(学校給食3味セット)は、「道の駅みやま」、タカフーズドットコム(オンラインショップ)にて購入いただけます。

9 株式会社クライミング

メスシリンダーやピーカーといった理化学用ガラス製品や、商業店舗のブランドロゴを板ガラスに彫り込んだものなど様々な用途のガラス製品をつくっている同社は「ガラスのコンビニ」を目指しています。

楽天で購入が可能です。(HP <https://www.rakuten.co.jp/climbing/>)



8 古賀茶業株式会社



あのクルーズトレイン「ななつ星in九州」で提供される八女茶を製造販売している、昭和13年創業の老舗。創業80周年を記念してオープンしたカフェ「こが茶カフェ(KOGACHA)」は、地元の食材を使った美味しいお料理や八女抹茶を使ったスイーツが話題です。

商品の購入方法: 本社ショップ、福岡三越地下2階ショップ、古賀茶業ネットショップ ☎0944(63)2333



7 筒井時正玩具 花火製造所

今では希少な存在となった国産の線香花火メーカー。火薬は宮崎産の松煙、紙は八女市の手すき和紙を使用。その和紙には草木染めを施すなど、職人の手によって一本一本丁寧に仕上げられます。

☎0944(67)0764



今回の舞台は…みやま市

福岡県南部に位置するみやま市は、瀬高町、高田町、山川町が合併し、2007年に発足しました。



マップからは少し外れますが、自然豊かなみやまを満喫したい方には、③から女山史跡森林公園を経由して清水寺へ抜けるコースもおすすめ。神秘的な竹林を抜けた頂の展望台から筑後平野を見下ろすことができ、四季折々のすばらしい景色が堪能できます。



11 岩永源蔵本店

みやま名物の「玉めし」や高級黒毛和牛「尾崎牛」を扱うお肉屋さんです。

☎0944(62)2086



5 清水寺・なで仏

体の痛い所をなで、仏様の同じ所をなでると痛みが取れると言われています。



4 清水寺本坊庭園

室町時代に画僧・雪舟が築庭した庭園で、有数の紅葉スポットです。

地域とつながるFFG連携プロジェクト

FFGの幅広いネットワークを活かした地方創生の具体的な事例をご紹介します



福岡県

FUKUOKA
Prefecture

2015年12月、福岡銀行及びぶくおかフィナンシャルグループ（以下FFG）は、福岡県と地方創生の取り組みを推進することを目的に、包括連携協定を締結しました。これまでも地方創生に係る取り組みを行ってまいりましたが、今般は福岡県農林水産部との取り組み「食育・地産地消フェア」をご紹介します。

食育・地産地消フェア

【福岡県産の農林水産物を活用した地産地消のメニュー提供】

【筑前町の野菜や果物等の出張販売】

福岡県では、「いただきます！福岡のおいしい幸せ」をスローガンに、地産地消に関する様々な取り組みを行っております。その一環として、昨年11月22日、FFG本社ビル食堂にて、県産品を活用した旬の柿を取り入れた天ぷら定食や、定食の小鉢（小松菜の

おひたし、きんぴらごぼう等）、八女茶を使ったデザートをメニューとして提供しました。同時に、『筑前町ファーマーズマーケットみなみの里』による野菜や果物、その他筑前町の特産品を販売する出張販売を実施しました。イベントは大盛況で、出店した事業者様には大変喜んでいただき、行員からは継続して開催してほしいとの要望がありました。

【バレンタイン用花束の特別販売】

福岡県は、全国第3位の花の生産県であり、花の魅力を多くの方に知ってもらい、県産の花の購買促進を図るため、フェアの開催や各種イベントで県産の花の展示等、様々な取り組みを行っています。

その一環として、2月14日、同食堂で、弊行行員向けに、花の持つ癒しを体感し、関心を持ってもらえるよう『フラワーバレンタイン用花束の特別販売』を実施いたしました。当日は、約90名の行員が家族や友人、職場の仲間等へ感謝の気持ちを伝えるため、花束を購入し、プレゼントとして活用

しました。

今後も、福岡県産品を「買って応援！食べて応援！」することで、福岡県ブランドの向上につながる持続可能な取り組みを福岡県と一体となり進めてまいります。

（福岡銀行公務金融法人部・
鶴原・津川）

ホームページは
こちらからどうぞ！



▲バレンタイン用花束



▲「筑前町ファーマーズマーケット
みなみの里」の販売風景



▲県産品を使ったメニューの
紹介

Topics of the month

海外ビジネスサポートに関する専門家5社をお招きし、
「海外ビジネスセミナー・個別相談会」を開催

FFGとグループ4行は、2020年1月20日(月)、福岡銀行本店ビル10階講堂において、「海外ビジネスセミナー・個別相談会～アジアビジネスで失敗しないための実践的なノウハウと最新情報～」を開催しました。

本

セミナー・個別相談会
は、FFGのお取引先

企業に対して、海外進出に必要な情報やノウハウを学ぶ機会を提供するとともに、具体的に相談できる機会を提供することを目的としました。

第一部・海外ビジネスセミナーでは、最新のビジネス環境や知的財産対策、海外子会社の経営、オンライン海外展示会を活用した販路開拓について、国内外で展開する5社の専門家が解説しました。

第二部・個別相談会では、事前のご要望に応じて海外ビジネスに関するお悩みをより深く相談できる時間を設けました。セミナーには53社59名が参加し、個別相談会では12社から

相談があり、参加された方からは大変ご好評をいただきました。

FFGでは、お取引先企業の海外ビジネスサポートをこれまでに以上に充実したものにす

め、外部専門家との連携を強化し、今後も皆さまに海外ビジネスに関する有益な機会や情報の提供に努めてまいります。



- ①水野コンサルタンシーホールディングス 代表取締役社長 水野 真澄氏
②明倫国際法律事務所 代表弁護士 田中 雅敏氏、③弁護士 森 進吾氏
④株式会社WWIP コンサルティングジャパン 執行役員 花田 舞佳氏
⑤株式会社フェアコンサルティング 税理士 柴田 暁氏
⑥アリババ株式会社 グローバルB2B事業部 マネージャー 江村 謙氏



▲第一部・海外ビジネスセミナー



▲第二部・個別相談会

Topics of the month

FFGビジネスコンサルティングの取り組み

タイアップ商談会を開催

FFGビジネスコンサルティングはFFGグループ4行の関連会社としてグループ行の広域なネットワークを活用し、お取引先の事業展開のサポートや経営に有益な情報提供等、付加価値の高いサービスの提供を行っています。

ビ

ジネスマッチングとは、販路の拡大や仕入先の

開拓を望む企業や事業主などに
対して、それらを求めている企業
を結びつける場を提供するサ
ービスです。

FFGビジネスコンサルティング
では、九州を中心に国内425
拠点、海外8拠点のFFGネット
ワーク（2020年1月末日現
在）による情報網を駆使し、ビ
ジネスマッチングの企画・運営を行
っています。本年、企画・運営開始
10年目を迎え、着実な実績とノ
ウハウに加えて地域に密着した
きめ細やかなサービスでベストな
提案を行っています。今回は株
式会社JTB商事、糸島市商
工会、株式会社サンクゼールとの
商談会の実例をご紹介します。

「株式会社JTB商事」

2019年12月13日（金）、
福岡銀行本店ビル4階フロアに
て株式会社JTB商事（東京
都）（以下、JTB商事）との商
談会を開催。

JTB商事は旅行代理店株
式会社JTBのグループ企業
であり、お客様向けの「旅のお土
産カタログ」を制作しています。
そのカタログ春号に掲載する商
材を求め商談会を実施。

事前に具体的なニーズを協議
の上、FFGの幅広い顧客網・
ツールを駆使し、福岡県、熊本
県、長崎県の食品メーカーから
要望に合う9社をお招きいたし
ました。

JTB商事のバイヤーからは



▲個別商談会の様子



▲当日提案されたアイテムのラインナップ

「カタログに掲載したい魅了的
な商品が多かった」と高評価を
いただきました。



▲バイヤーの試食風景



▲展示スペース

「糸島市商工会」

2020年1月17日（金）、糸島市商工会と共同で、福岡県糸島市の「けやきの杜」にて、「糸島Life食の商談会」を開催。

展示商談会をメインに、事前にスケジュールを組んだ個別商談会を実施しました。糸島市の企業17社が参加し、全国各地から34社のバイヤーに参加いただき大盛況のうちに終了いたしました。バイヤーからは「すぐにでも取引をしたい企業が数社ある。また開催する際は呼んでほしい」と嬉しいお言葉をいただきました。

「株式会社サンクゼール」

2月13日（木）福岡銀行本店ビルにて、商工組合中央金庫との共催で、株式会社サンクゼール

（以下、サンクゼール）との商談会を実施。

サンクゼールは長野県に本社を構え、「サンクゼール」・「久世福商店」の屋号で全国にこだわりの食品を取り扱う約120の小売店を展開し急成長している企業です。

事前にサンクゼールのバイヤーと具体的ニーズを協議し、要望に合う、FFGお取引先17社、商工組合中央金庫17社の合計34社をお招きしました。バイヤーからは「九州の企業は加工のレベルが高いので今後も接点を増やしていきたい」との評価をいただきました。

これからもFFGビジネスコンサルティングは、FFGの一員として、幅広いネットワークを活かし、お客様のご本業のお手伝いに尽力してまいります。



▲会場の入口



▲個別商談コーナーの様子

FFGが提供する新たなビジネスマッチング

ビジネス

マッチング

システム

FFG BMS

〈お客様の様々な悩みを支援〉

販路拡大・商品開発・
業務効率化 etc...



私たちFFGビジネス
コンサルティング
ビジネスサポート部が
お答えします!



佐藤



藤井



諸隈

2019年9月に導入
したFFG BMS。導入直
後からたくさんのご相談を
頂き、様々な反響がありま
すが、改めてFFG BMS
のできることをQ&A形式
でご説明します。



**FFG BMSは
なぜできたの???**



FFG BMSは従来からFFGで行っていたビジネスマッチングを進化させるために作られたものです。FFG BMSを活用することによって、グループ銀行間の垣根をこえたビジネスマッチングを早期に実現し、商品開発、販路拡大、事務効率化等のお客様の課題解決を強力にサポートしていきます。



何ができるの???



FFGの各行員がお取引先様の課題をお伺いし、FFG BMSに投稿することによって、FFG全体でその課題を共有することが出来ます。FFGのネットワークをフルに活用することで、課題に対するソリューションを提供出来る企業を迅速に紹介することが出来ます。



**利用するとお金が
かかるの???**



利用料は無料です。



**FFG BMSは
FFGの行員しか
使えないの???**



FFG BMSはFFGとお取引を頂いている企業様であれば、FFG BMSアカウントの発行が可能ですのでお取引先様も直接利用可能です。自社の企業情報と自社の依頼内容の編集を行うことができます。



**FFG BMSの
アカウントを発行
するにはどうしたら
いいの???**



お取引を頂いているFFGの担当営業店へご連絡ください。FFGビジネスコンサルティング

グにて手続きをいたします。



**アカウント発行して
もらって企業情報と
依頼内容を
編集したけど
意味はあるの???**



お取引先様から直接情報の編集をしていただくことで、より具体的にお取引先様の伝えたい特徴・強みなどがFFG全体へ伝わり、希望されるビジネスマッチングの相手先が見つかりやすくなります。

別途、FFGではビジネスマッチングに関して数多くの提携企業様の紹介も行っております。お取引先様の課題に対して、たくさんの方のソリューションの提供が可能ですので、お近くの営業店へ是非一度ご相談ください！

FFG経営者クラブ

ビジネスに直結する情報提供を通じて
会員企業さまの発展をサポートいたします。

人と人との
つながりが
ビジネスを広げる



FFG経営者クラブの主なご提供サービス

年会費 **26,000円**

☑ FFG経営者クラブ インターネット情報サービスによる情報提供



**ビジネスに即した
様々な情報を入手!**

経営上の疑問・課題の解決に役立つ豊富な情報を
タイムリーに提供します。

☑ セミナー・研修会の開催



**実務情報や
経営ノウハウが直接聞ける!**

人材育成に関するテーマを中心に、経験豊富な講師
陣による各種セミナー・研修会を開催いたします。

☑ 24時間いつでもご利用いただける インターネットセミナー



**多彩なセミナーを
インターネットで視聴できる!**

豊富なラインナップから、お客さまのご希望のセミ
ナーを24時間無制限でご視聴いただけます。勉強会
(社内研修)などにもご活用いただけます。

**Pick
UP!**

☑ FFG調査月報、小冊子のご提供



**ビジネスに役立つ!
日常業務でも使える!**

福岡ファイナンシャルグループの経済情報誌や
ハンドブックをお届けします。

☑ 総合補償制度(団体保険)



**企業活動に伴う様々なリスクを
総合補償制度で守ります!**

会社経営に関する様々なリスクへ備えるために
総合補償制度を提供します。

☑ 商談会の開催



**FFGのネットワークを
利用した商談会!**

販路拡大に繋がる商談会を開催いたします。

☑ ビジネスマッチングルームのご利用



**交通至便な
福岡天神の商談スペース!**

福岡銀行本店ビル5F(福岡天神)の**ビジネスマッ
チングルームを無料**でご利用いただけます。

☑ 社員教育用DVD・ビデオの無料貸出



**社員教育・研修で大活躍!
多様なテーマでバックアップ!**

新入社員、若手社員向けのビジネスマナーはもちろん、
コンプライアンス経営、顧客満足など、経営
全般に参考となる**DVD・ビデオ(総数200タイトル
以上)を無料**でご利用いただけます。

☑ TSR REPORT割引サービス



**新規のお取引の情報収集、
ライバル企業調査に!**

東京商工リサーチの国内企業情報レポート「TSR
REPORT」を**会員割引料金**でご提供いたします。

FFG経営者クラブのお申込み・お問合せは

FFG経営者クラブ事務局

株式会社FFGビジネスコンサルティング内

〒810-0001 福岡市中央区天神2-13-1 福岡銀行本店ビル5階

TEL092-723-2241 FAX092-721-9258

受付時間/平日9:00~17:45(但し、銀行休業日は除きます。)

FFG経営者クラブ インターネットセミナー



インターネットセミナーは、多彩なセミナーを視聴できるサービスです。
会員様であれば無制限にご利用いただけます。

こんな方に最適です。

セミナーは受けたいけど
時間がとれない!

24時間いつでも
ご利用いただけます。

継続的に社員研修を
行いたい!

勉強会(社内研修)
などにご活用ください。

受講したいと思えるセミナーが
開催されていない!

豊富なラインナップ
からご希望のセミナーを
選べます。

インターネット
セミナーは

- 毎月新しいコンテンツが日々更新されます。
- 1社1組のアカウント(ID・パスワード)で何人でも視聴できます。
- WindowsPCであれば、ほとんどの場合視聴可能です。

ジャンルは

経営、人材育成、著名人の講演、法律、税務・財務・経理
…多種・多様です!

FFG経営者クラブインターネットセミナーのご利用には「FFG経営者クラブ(年会費26,000円)」へのご入会が必要です。

▶ ログイン方法

FFGビジネスコンサルティング
トップ画面



<https://www.ffgbc.com/>
FFGビジネスコンサルティング

クリック

検索

FFG経営者クラブトップ画面



クリック

ID・パスワードを
入力してください。



視聴したいセミナーを
選択してください。



Topics of the month

クロス

テック

マッチ

アップ

「X-Tech Match up 北九州」を開催

2020年1月23日(木)、北九州国際会議場(北九州市小倉北区浅野)におきまして、「X-Tech Match up 北九州」を開催しました。



ホームページは
こちらからどうぞ!



-Tech Match up 北九州とは、F F G ベン

チャービジネスパートナーズ(以下、F V P)の出資先などのベンチャー企業とF F G ビジネスコンサルティングのビジネスマッチングのノウハウを融合しF F G の力を結集して、商談の場をご提供させていただき取り組みです。今回は北九州で初開催しました。

昨今は、A I やI O T、5 G といった最新のテクノロジーがビジネスに実装される段階に移り、世界で新たなビジネスの誕生や既存ビジネスの変革が加速しています。地域経済においても、労働力不足等の課題があり、オープンイノベーションという考え方に基づき、ベンチャー企業と連携しながら、新事業を行う

ケースも増えつつあります。

こうした変化に適応していくには、従来の枠組みにとらわれないうアイデアやテクノロジーを取り入れ、事業化につなげていくことが重要です。

本イベントでは全国から最新テクノロジーを持つベンチャー企業30社、地場企業170社が参加し、予約商談が145件、フリー商談が121件行われました。地場企業ではシャボン玉石けん(株)、第一交通産業(株)、T O T O (株)、(株)安川電機など多くの企業にご参加いただきました。地場企業の担当者からは、「ベンチャー企業のスピード感や動きの柔軟さに刺激を受けた」、「今後の事業展開を考える上で、多くのヒントや新しい発見があった」などの声が聞かれました。



▲パネルディスカッションの様子



▲商談ブース全景



▲新たに設けた官・学出展ブース

出展ブースでは、北九州市や北九州産業学術推進機構、北九州市立大学、九州工業大学、西日本工業大学のブースを新たに設けて、北九州のベンチャー企業支援や大学内の研究・技術支援等についてご説明いただきました。また、メインステージでのプレゼンテーションでは自治体、団体、大学での取り組みや産学官連携などに関して、熱く語っていただきました。

そして、基調講演では、Smart Technologies(株) / 旭鉄工(株)代表の木村哲也氏に製造業の現場でトヨタ生産方式のカイゼンによるIoTソリューションやクラウド環境を利用し、製造ラインの見える化や生産性向上の成功事例について語っていただきました。



▲i Smart Technologies(株) / 旭鉄工(株)：木村 哲也氏

さらに、パネルディスカッションではオープンイノベーション最前線というテーマで、FVPの山口泰久副社長がモデレーターを務め、(株)安川電機の古瀬利博氏、SUNDRED(株)の留目真信氏、(株)Liberawareの関弘圭氏の3名をお招きして、大手企業とベンチャー企業との新産業共創に向けたプロジェクトにおいて、実体験をもとに課題や対処方法についてご意見をいただきました。

ベンチャー企業30社は専用ブースで地場企業の担当者に向け自社の商品・製品やサービスをプ

レゼンし、地場企業はサービス導入のみならず協業や出資の目線で商談が行われました。商談後、既に数件の成約や出資検討につながっています。

最後に参加者同士で交流会を行い、新しいネットワークの構築やオープンイノベーションによるビジネスチャンスにつながる場となりました。

こうした活動を通じて、FFGでは経済界、ベンチャーキャピタルなどの様々なネットワークを活かし、ベンチャー企業の「発掘から育成、成長、そしてIPOなどの出口まで」を一つにした『ベンチャーエコシステム』の各ステージで適切な支援を行う体制ができております。

FFGは今後も地域経済発展のために、お取引先企業の皆様に、実業につながるような課題解決の場の提供に努めてまいります。



▲(株)FFGベンチャービジネスパートナーズ：山口 泰久氏



▲(株)Liberaware：関 弘圭氏



▲SUNDRED(株)：留目 真信氏



▲(株)安川電機：古瀬 利博氏

投信のパレットとは

人生100年時代を見すえて、自分らしく豊かな人生を送るために、FFG独自のシステムを活用し、お客さまの長期にわたる資産づくりをサポートするサービスです。

続く
安心

専門家に “ずっと相談”できる

“長期”の資産づくりにお取り組みいただくためには、安心してご相談いただけることが第一だと考えています。

だからこそ、“投信のパレット”サービスは、担当者によるFace to Faceを基本としたスタイルで、F-navi+による分かりやすい資料を用いてご提供させていただきます。



これ“が”
いい

だから “納得・満足”できる

担当者がお客さまの資産づくりについてじっくりお話を伺いしたうえで、お客さまにぴったりの組合せをご案内し、お客さまの『これ“が”いい』をお選びいただけるようお手伝いさせていただきます。

また、運用開始後もきめ細やかなフォローアップをご提供し続けることで、お客さまの豊かな暮らしを応援します。

期間限定

投信のパレット定期預金

期間 2020年4月30日(木)まで

福岡銀行の窓口で投資信託のご相談をされると

特別金利3ヵ月もの年**0.3%** (税引後 年0.239%〈注〉)

〈注〉記載の税引後の利率は、復興特別所得税を付加した20.315%の税金が差し引かれた利率であり、小数点第4位以下を切り捨てて表示しております。

※投資信託に係るアンケートへ回答されたお客さまが対象です。

くわしくは福岡銀行窓口までお問い合わせください。

投資信託に関する
ご留意点

■ご検討にあたっては、「商品パンフレット」「投資信託説明書(交付目論見書)」等を必ずお読みください。■投資信託は預金ではなく、預金保険の対象ではありません。また、福岡銀行で取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。■投資信託は、元本保証および利回り保証のいずれもありません。〈投資信託の口座開設には、「マイナンバー確認書類」および運転免許証など「本人確認書類」のご提示が必要です。〉NISA口座・ジュニアNISA口座・つみたてNISAに関するご留意点は、NISA GUIDE BOOKをご覧ください。

(商号等)株式会社福岡銀行(登録金融機関) [登録番号] 福岡財務支局長(登金)第7号 [加入協会] 日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会

投信のパレットのポイント

比べて
安心

比較することで
“違いがわかる”

5段階評価



[運用の成果]だけではなく「運用の安定性」「分配金の魅力」「コスト」などについて5段階評価を行います。

比較チャート



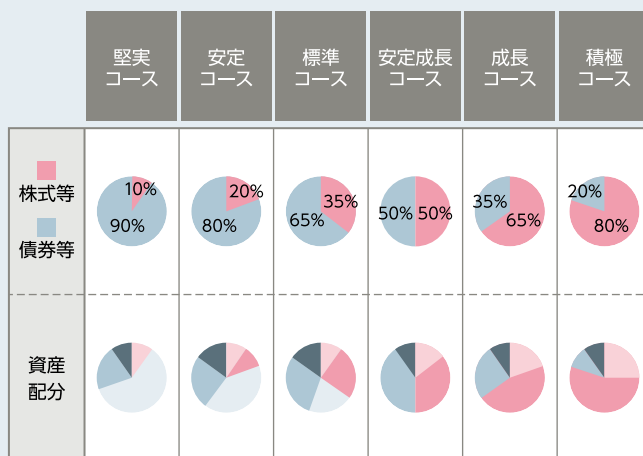
運用実績の違いをグラフで一目瞭然、確認できます。

自在な
プラン

多彩な組合せから
“ぴったりを選べる”

様々な性格を持つ数多くの投資信託から、優れたファンドを選び出します。

お客さまの資産づくりのニーズに合わせて、彩り豊かな組合せによる資産運用プランをご提案し、お客さまの“ぴったり選び”をお手伝いします。



投信のパレットサービスの詳細は、最寄りの福岡銀行窓口、またはコールセンター・ホームページにてご確認ください。

■福岡銀行 投信のパレットコールセンター

よかよか パレット

 0120-44-8010

[受付時間] 平日9:30~17:30
但し、銀行休業日は除きます。

■福岡銀行ホームページ

投信のパレット

検索

こちらからもアクセスできます。



特別編

九州の逸品

KYUSYU NO IPPIN

FILE No.61

九州の「地域ブランド」を
ご紹介致します。

雲仙・島原

しかがわ
はねず
鹿革・朱華



日本初かつ最大級の鹿牧場

長崎県島原半島の最南端にある南島原市口之津。ここに本社を構える株式会社ディアー・カンパニーは約1,000頭もの品種改良された鹿を島原半島内で飼育しています。日本初かつ最大級の鹿牧場を営むことになった経緯と、南島原市地域資源として認定された「鹿」について、2代目社長となる八木紀子社長を訪ね、お話を伺いました。

貴重な秘薬となる鹿の袋角

1977年、獣医であった先代・八木高人が、古来とても貴重な漢方薬として知られ王侯貴族しか使えない秘薬であったとされる



上：品種改良を重ねた約1,000頭の鹿を広大な敷地で飼育／右：スライスした袋角と粉末に加工した商品

「鹿茸」と呼ばれる鹿の袋角を、誰もが入手でき、誰もがもつと健康になれるようにとの思いから、鹿の飼育を日本で初めてスタートさせました。

最初の飼育は、たった3頭の鹿からでしたが、そこからよりよい鹿の角をつくるために品種改良を重ね、現在は約1,000頭の鹿を飼育しています。健康な鹿であるよう、餌は自社の牧草地で栄養成分の高い牧草を無農薬で栽培し、他の穀物や野菜、湧き出る天然水とともに与えています。起伏のある広大な敷地で育てることにより、鹿は健康でストレスなく大きく成長します。

軽く柔らかく、
しつとりと
肌に馴染む心地よさ

鹿革は軽くて柔らかく、ふんわりあたたかみがあり、しつとりと肌に吸い付くような触り心地があります。伸縮性があり、通気性や耐久性にも優れ、牛革よりも革の

内の雌雄バランスが崩れる時などには屠畜を行います。屠畜した鹿は、鹿肉をジビエとして雲仙の高級ホテルなどで提供し、鹿革は革製品として加工して販売します。

私たちは鹿を育て、鹿の命をいただいているのだという思いを常に念頭に置きつつ、世のため人のために、鹿の全てを余すところなく使わせていただいているのです。



▲中山智介氏



▲鈴木てるみ氏



▲新田眞大氏

なかの油分を保持する能力が優れているため長期間の使用にも耐えることができます。剣道の武具などにも利用されるなど、日本ではおよそ1300年前から利用される伝統的な革製品として知られ、奈良・東大寺の正倉院に納められた革製品のうち8割は鹿革といわれています。

「朱華」で 日本の技術と伝統を 後世に伝えたい

鹿皮は古くから、馬・牛皮などよりも加工しやすい生活用品として、柔軟で丈夫な革紐や皮膜素材などに使われてきました。鹿皮を武具へ利用した始まりは弥生時代だったといわれ、西暦500年

頃になると、朝鮮半島から皮の加工技術が日本に伝えられ、その後は長い歴史と工夫を積み重ねて、日本鹿を使った独自の文化として鹿革製品が作られるようになったのです。

歴史のある鹿革製品のなかで、とくに甲冑や武具、足袋などに使用されるものは天然の植物で染色した鹿革でした。この手法を復元したのが白鞣^{しろなめ}し加工であり、白鞣し革の藍染めです。

しかし、日本で白鞣し加工を施すことのできる鹿革職人は、兵庫県姫路市の新敏製革所の代表、新田眞大氏ただひとり。白鞣し加工には卓越した技術と時間がかかるため、大量生産に向いていません。さらに染色は古来、衣服や調度品とする布綿などに色や文様を

つけることを発端として、鹿革のみが染革素材に使用されるようになりました。「朱華」に藍染めや草木染めを施すのは、長崎県雲仙市のアイアカネ工房の鈴木てるみ氏です。自然の葉や枝、根が持つ多様な色合いを引き出し、そんな草木の生命を革に宿すことができる職人です。

そして鹿革の製品化で最も重要な加工工程となる縫製組み立てを施すのが、長崎県大村市で「銀職庵水主」を営む中山智介氏です。

それぞれの持つ、途絶えがちな日本の技術と伝統を復活・結集させ、鹿革製品を商品化して後世に残したい、文化継承の役割を担いたい。そのような想いで「朱華」は生まれました。



▲ペットフードもラインアップ



▲ハンバーグやベーコンなどの鹿肉加工食品



▲鹿の袋角を加工した健康食品



エンニチ en-nichi

あなたと作り手を結ぶ、地域共創型オンラインストア

エンニチとは、iBankマーケティングが地域総合商社事業の一環で立ち上げたECモールサイトで、地域の魅力的な商品を販売しています。

<https://www.ennichi-japan.com/>



株式会社 ディアー・カンパニー



- 代表取締役：八木 紀子
- 住 所：〒859-2502
長崎県南島原市口之津町甲2351
- 電 話：0957-86-3669
- ホームページ：<https://nagasaki-hanezu.com>
- 取引銀行：親和銀行 口之津支店



長崎、九州にもっとフィットネスを浸透させたい

九州の星

Star of Kyushu

| 55 |

頑張るあなたを
応援するコーナーです



IFBB世界マスタースターズ選手権大会 メンズフィジーク40〜44歳の部優勝



世界一に輝いた筋肉美

長工醤油味噌協同組合 大村工場に勤務する森山健三さんが、2019年12月にスペインで開催された国際ボディビル・フィットネス連盟（IFBB）世界マスタースターズ選手権大会メンズフィジーク40〜44歳の部で優勝した。

「初出場で優勝できるとは思っていませんでした。支えてくれた家族や会社の人に感謝しています」

フィジークは筋肉量を競うボディビルと異なり、逆三角形の身体と引き締まったウエストなど、筋肉の美しさが審査の対象となる。

小さい頃から漫画「北斗の拳」に憧れ、20歳の頃からジムでトレーニングしていた森

山さんが、本格的に競技を意識して鍛えたのは2016年夏から。

「平日2時間1セット、週に18時間くらいトレーニングをし、食事肉と野菜を中心に、筋肉をつくりました」

2019年9月に大阪府で開催されたオールジャパン選手権で初優勝し、世界大会への切符をつかんだ。

大会では、身長182cm、体重76kg、ウエスト72cm、体脂肪2%未満の鍛え上げた身体で、ロシア、イタリアなど14カ国18人の代表と争って栄冠を手にした。

「まずは去年の自分を超える」新しい目標に燃え、オフシーズン中も、トレーニングに励む毎日だ。

森山 健三

MORIYAMA KENZO

Age 41

勤務先 長工醤油味噌協同組合
大村工場



「IFBB世界マスタースターズ選手権」日本の選手団



「2019オールジャパンフィットネス選手権大会」（大阪）の様子

2020.3.5(木) ▶ 5.30(土)

現在、親和アートギャラリーでは、季節展示室・絵画展示室1に於いて春季企画展「花を描く」を開催しています。

花は洋の東西を問わず、古くから画家たちを魅了してきたモチーフの一つです。本展では、日展や一水会展などを中心に活躍した田中春弥の油彩画「明朝壺の鉄線蓮」を始め、長崎県佐世保市ゆかりの北村綱義、島内きみ、松崎良太らのパステル画、油彩画、日本画など全9作品をご紹介します。

このほか、近代洋画、日本画、陶磁器、ロシアアイコンなど約140点の常設展示も行っております。

花を描く

親和アートギャラリー
春季企画展



明朝壺の鉄線蓮

作者：田中 春弥
1914～2010年

福岡県八女市に生まれ、熊本県人吉市で育つ。川端画学校を経て東京美術学校(現・東京藝術大学)卒業。安井曾太郎、田崎廣助に師事。メキシコの遺跡、人物、静物などを描いた作品で知られる。後年はアトリエを構えた長野や郷里の熊本の自然を描いた。一水会運営委員、日展参与。

親和アートギャラリー

鑑賞無料

開館時間：10:00～16:00(入館は15:30まで)

休館日：日・月・祝日、年末年始(12/31～1/3) ※土曜日が祝日の場合は開館

長崎県佐世保市島瀬町4-24 親和銀行島瀬ビル1F 島瀬バス停から徒歩3分、JR佐世保駅から徒歩約20分 TEL.0956-23-4856

